



令和3年は米国・アイダホフォールズ市と 姉妹都市交流40周年を迎えます！

東海村と米国・アイダホ州アイダホフォールズ市が1981年に国際親善姉妹都市盟約を締結してから、今年で40周年を迎えます。これを記念して、令和3年度はアイダホフォールズ市へ一般訪問団を派遣し、現地で開催される記念式典へ参加する予定です。また、新たな交流の機会として、産業交流を目的とする事業者向けのショートステイプランなどを計画しています。

なお、令和3年度の姉妹都市交流事業については、両国の新型コロナウイルス感染状況等により、オンラ

イン交流などに内容を変更して実施する場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

今後の状況等については、改めて「広報とうかい」や村公式ホームページ等でお知らせします。



【令和3年度 交流事業計画】

▽一般訪問団派遣…6月下旬(15人程度)

▽学生の受け入れ…7月下旬(15人程度)

【問い合わせ】秘書広報課広報戦略・国際化担当(☎282-1711 内線1304)

村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト

「クロマツ植樹体験」を行いました！



2月16日、照沼小学校の5・6年生が、村の木であるクロマツの植樹を体験しました。これは、松くい虫の被害により松林の景観が損なわれてしまった東海十二景の一つである村松晴嵐を、以前の姿へと再生しようと令和元年度から始まった取り組みです。

当日は、村松晴嵐の碑から村松海岸に向かう八間道路でクロマツの植樹を体験しました。参加した児童たちは「貴重な体験ができて良かった」「自分たちが植えたマツが大きくなっていくのが楽しみ」などと話しました。

タイトルにある「リジェネ」には「ゆるやかな回復」という意味があります。50年、100年と長い時間をかけて見守り、景観の再生に取り組んでいきます。



村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクトは、令和元年度から市町村への譲与が始まった「森林環境譲与税」を活用しています。森林環境譲与税は、森林の有する公益的機能の維持増進の重要性を踏まえ、森林の整備およびその促進に関する施策の財源に充てるために創設されたものです。

【問い合わせ】農業政策課(☎282-1711 内線1222)

パブリックコメント

「東海村国土強靱化地域計画(案)」への ご意見をお寄せください！

村では、大規模な自然災害等から、住民の生命や財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興につなげるための施策を定めた「東海村国土強靱化地域計画」の策定を進めています。計画をより良いものとするため、皆さんのご意見等を募集します。

公表期間▼3月15日(月)～28日(日)の午前8時30分～午後5時15分

公表場所▼▽防災原子力安全課(役場行政棟5階)▽各コミュニティセンター ※村公式ホームページからもご覧いただけます。

その他▼▽住所・氏名・電話番号の記入がないものは受け付けできません。▽内容について個別に確認する場合があります。▽寄せられた意見は、回答とともに匿名での公表を予定しています。

提出方法・問い合わせ▼各公表場所備え付けの様式に必要事項を記入の上、3月28日(日)(必着)までに、郵送・ファックス・メールまたはお越しの上、防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当(〒319-1192 東海3-7-1 ☎282-1711 内線1523 FAX270-4418 [✉bousai@vill.tokai.ibaraki.jp](mailto:bousai@vill.tokai.ibaraki.jp))へ提出してください。※様式は村公式ホームページからもダウンロードできます。